

中 強く問う

の不安は大きい。
がありながら、それを怠る滞納者について、



開会を宣言する鹿島議長

平成16年度水道事業会計決算

9月定例議会を、9月15日から30日まで16日の会期で開きました。平成17年度一般会計補正予算ほか19の議案、陳情8件を審議し、全て原案どおり可決しましたが、平成16年度水道事業会計の決算認定にあたっては、「水道料の滞納者で特に悪質なものに対しては、毅然とした態度で給水停止も行うこと」という付帯意見を付けました。

水道使用料の滞納額は3800万円にも及んでいる。

内部に協議会を作り、現在検討している。本場に払えない人と払わない人を区分し、給水停止ということも含めて検討したい。

質疑

問 (荒松議員)

かなりの未収金がある。3カ月以上払わない者は、給水を止めるべきではないか。

答 (山口町長)

上水道は命にかかわるきずなでもある。給水停止には大きな課題があると思っているが、水道料金に限らず、様々な税や料金の滞納について対策を立てるため、

なお、16年度決算認定は、水道事業・索道（スキー場リフト）事業の企業会計のみで、その他の決算は、合併による事務の遅れにより、12月に審査することになりました。また、一般質問では10人の議員が、大山振興策・行財政計画・アスベスト被害など21項目にわたって町当局の考えを問いました。

限り、部落集金はできない。

平成16年度索道事業会計決算

中の原スキー場の事業収入はリフトが、ほぼ前年並の1億7192万円、レストランは4・2%減の3682万円だった。純利益は3446万円。

質疑

問 (西山議員)

リフト事業の繰越欠損金について説明を。

で、リフト・食堂等に多大な投資が必要。平成に入ってから、多額の設備投資を行っており、減価償却費の増により経理上、赤字決算が続き、その累積が5億8千万円となっている。しかし、3年前からは単年度収支は黒字となり、設備投資のための借入金も16年度末で全て返済が終了している。

答 (福留観光商工課長)

索道事業は設備産業

答 (小西水道課長)

個人情報保護・プライバシー保護のため、個人ごとの承認がない